

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	ビジネス実務Ⅲ	科 目 区 分	(一般科目) ・ 専門科目
開 講 期	(前期) ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期：63時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。</p>		
そ の 他	<p>各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。</p> <p>人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。</p>		
	前 期		
授 業 の 概 要	<p>1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指す。この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。</p> <p>また、社会人としての心構えを身につける。</p>		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、早期出社ができるようにする。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>期末試験 (95%)、出欠席 (5%)</p>		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	ビジネス実務IV	科 目 区 分	(一般科目) ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ (後期) ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期：時間 / 後期：33時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。		
そ の 他	各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。 人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。		
	後 期		
授 業 の 概 要	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。 この知識と企業研究で得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付けることができる。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト：</p> <p>「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		

令和6年度 シラバス

学科・学年	ホテル・ブライダル学科		2年
科目名	国際文化演習	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期・後期・通年	担当教員	土師あやか
時間数	前期:40時間		
科目の目的と講義内容	グローバル社会が進む中で、インバウンド観光客が年々増加傾向にある。日本人にはなじみが薄い信仰、戒律、儀礼に基づく宗教について理解することを目的としている。		
目指す検定・資格	特になし		
指導方法及び学生に期待すること	三大宗教（キリスト教、イスラム教、仏教）に触れ、宗教の多様性の理解を深める。		
その他			
	前 期	後 期	
授業の概要	各宗教の多様性について必要な知識を中心に授業を行う。		
到達目標	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教、ヒンドゥー教について理解している。		
成績評価方法	期末試験（65%） プレゼン評価（30%） 出欠席（5%）		
テキスト・副読本	ビジネスパーソンのための教養としての 世界三大宗教 中村 圭志 著		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	ブライダルプロデュース I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期:123 時間	実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	イベントプロデュースで培った企画運営の基礎知識を基盤に、ウエディングスペシャリストとしてブライダル商品の企画提案と運営を行う。世界の現状にあうパーティ提案を行う。オンラインを使ったミーティングなども利用し、チームで仕事をする（準備、本番）重要性を体感するとともに業務の仕方を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	表現ルールの中で表現すること（お客様が求めている事を表現）、自分達の不足分を課題テーマとし、結婚式表現をすることで自分達を見つめ直しながらプロとしての資質向上に繋げていく。業務の進め方をしっかりと習得し、軌道修正をしながら最後は感動体験が出来るように指導していく。 精神的に、人間的に、大きく成長し、即戦力として通用する人材育成を目指す。		
そ の 他			
	前期		
授 業 の 概 要	イベントプロデュースを基盤とし、表現方法を結婚式演出で行う。 専門知識として習得した海外・日本の結婚式スタイルを実践、表現する。		
到 達 目 標	チームで仕事をする重要性を体感する。 業務の進め方を理解し、報連相を行う中で主体的に動けるようになる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（65%）、提出物（10%）、授業態度（15%）、他己評価（5%）、出欠席（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	なし		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	ブライダルプロデュースⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	後期:162時間	実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるように講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	集大成として2年間の課題やテーマを結婚式の儀式や演出にて表現する。またチームで仕事をする（準備、本番）重要性を体感するとともに業務の仕方を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	表現ルールの中で表現すること（お客様が求めている事を表現）、自分達の不足分を課題テーマとし、結婚式表現をすることで自分達を見つめ直しながらプロとしての資質向上に繋げていく。業務の進め方をしっかりと習得し、軌道修正をしながら最後は感動体験が出来るように指導していく。 精神的に、人間的に、大きく成長し、即戦力として通用する人材育成を目指す。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	新郎新婦の思い、国際融合を目的とした結婚式の商品企画を行う。プランナー、ドレスコーディネーター、サービススタッフといった職務理解をしながら結婚式の商品企画および個人プレゼンをし、代表商品の運営を行う。		
到 達 目 標	代表商品をチームとして創り上げ、業界内で仕事をする方法を学び、プロとしての考え方や動きが出来る事で即戦力として通用出来る人材構築をする。		
成 績 評 価 方 法	・ 期末試験（65%）、提出物（10%）、 授業態度（15%）、他己評価（5%）出欠席（5%）で評価する。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	なし		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル		学科	2年
科 目 名	ホテル・ブライダル演習Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか	
時 間 数	前期 39時間／後期： 時間	実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるように講義する。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	専門科目内で修得しきれない実践技術を修得する。 現場のプロからの講義により現場で求められている人材も含め、技術も知ることで、働く意識向上にもつなげる。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	現場のプロからの技術伝授。科目担当は動機づけ、振り返りをさせ技術定着を図る。 受け身ではなく主体的に修得する。			
そ の 他				
	前 期	後 期		
授 業 の 概 要	ホテル・ブライダル業界への就職活動・就職後においても活かせるよう、印象アップ・話し方・営業ロールプレイを行い習得できるように授業を行う。			
到 達 目 標	サービス業界で必要なマナー実践とともにお客様に分かりやすい言葉で話せるよう実践する。			
成 績 評 価 方 法	期末試験 (65%) 実技評価 (30%) 出欠席 (5%)			
テ キ ス ト ・ 副 読 本	なし			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル		学科	2年
科 目 名	ホテル・ブライダル演習Ⅳ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか	
時 間 数	前期： 時間／後期：30時間	実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるよう講義する。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	専門科目内で修得しきれない実践技術を修得する。現場のプロからの講義により現場で求められている人材も含め技術も知ることで、働く意識向上にもつなげる。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	現場のプロからの技術伝授。科目担当は動機づけ、振り返りをさせ技術定着を図る受け身ではなく主体的に修得する			
そ の 他				
	前 期		後 期	
授 業 の 概 要			ホテル・ブライダルの各職種に就職した際に即戦力として活躍できるよう、現職の外部講師の講話をいただく。 さらに現場で即戦力となるべく、SNS活用やトレンドの調査を授業で習得する。	
到 達 目 標			サービス業界で求められる人材を再認識することに加え、就職着任後に向け準備する。	
成 績 評 価 方 法			期末試験（95%） 出欠席（5%）	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			なし	

令和6年度 シラバス

ホテル・ブライダル 学科		2年	
科 目 名	ユニバーサルサービス I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	坂本 恵
時 間 数	前期：25時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	他者との違いを認め合い支え合う共生社会（ユニバーサル社会）では、全ての人が自己の尊厳を維持しながら安心して生活することのできる社会が求められている。サービスの現場でも多様化するお客様のニーズを理解し、行動する力が必須となる。さまざまな状況にある全ての人から顧客満足を生み出す接客・接遇ができることを目的とする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを中心に動画等も用いながら、より身近にさらに自分事として捉えられるように説明する。また、座学だけでなく実践を取り入れることで率先して行動できる人材を育成する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	ユニバーサルサービスの基礎、取り組むメリットを学習する。配慮が必要な人が抱える不自由さへの基本的理解と、現場ですぐにできる接客・接遇を習得する。		
到 達 目 標	ユニバーサルサービスの基礎知識を身に付ける。 視覚に不自由を感じている方、聴覚に不自由を感じている方、肢体に不自由を感じている方の基礎知識を学び、個々のニーズに合わせた接客・接遇ができるようになる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（90%） 提出物（5%） 出席率（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト 日本能率協会マネジメントセンター		

令和6年度 シラバス

学科・学年	ホテル・ブライダル 学科		2年
科目名	ユニバーサルサービスⅡ	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期・後期 通年	担当教員	坂本 恵
時間数	前期：時間 / 後期： 20時間		
科目の目的と講義内容	<p>他者との違いを認め合い支え合う共生社会（ユニバーサル社会）では、全ての人が自己の尊厳を維持しながら安心して生活することのできる社会が求められている。</p> <p>サービスの現場でも多様化するお客様のニーズを理解し、行動する力が必須となる。</p> <p>さまざまな状況にある全ての人から顧客満足を生み出す接客・接遇ができることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	<p>テキストを中心に動画等も使いながら、より身近にさらに自分事として捉えられるように説明する。また、座学だけでなく実践を取り入れることで率先して行動できる人材を育成する。</p>		
その他			
	前 期	後 期	
授業の概要		<p>ユニバーサルサービスの基礎、取り組むメリットを学習する。配慮が必要な人が抱える不自由さへの基本的理解と、現場ですぐにできる接客・接遇を習得する。</p>	
到達目標		<p>高齢の方、妊娠中の方、小さなお子様連れの方、外国人の方、知的障害・発達障害・精神障害の方、LGBTの方の基礎知識を学び、個々のニーズに合わせた接客・接遇ができるようになる。</p>	
成績評価方法		<p>期末試験（90%） 提出物（5%） 出席率（5%）</p>	
テキスト・副読本		<p>接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 紀 薫子 著</p>	

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	ブライダル・コーディネート	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期： 時間 / 後期：38時間	実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	1年半で学んだ、ブライダルの総まとめとして、日本で最大にして唯一のブライダル協会である、公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会の主催する「ブライダルコーディネート技能検定3級」を取得する。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ブライダルコーディネート技能検定3級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	過去問題を中心に復習を兼ねてブライダルの知識を再確認していく。ブライダルコーディネート技能検定は国家検定でもあるため、全員取得を目指す。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	1年半で学んだ、ブライダルの総まとめとして、日本で最大にして唯一のブライダル協会である、公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会の主催する「ブライダルコーディネート技能検定3級」を取得する。		
到 達 目 標	ブライダルコーディネート技能検定3級の取得		
成 績 評 価 方 法	期末試験(95%)、出席率(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定 過去問題 ブライダルコーディネート技能検定 過去問題		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		2年
科 目 名	ブライダルビューティー演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	難波 由華
時 間 数	前期：28時間 / 後期：時間	実務経験：岡山、倉敷などのレストラン、ホテルなどの結婚식을現役で担当。また花嫁美容の勉強会BBC、岡山ウエディング協議会に所属、全国、岡山県美容講師会にも所属しており、現場での情報や業界で求められる仕事を直に伝えることが可能である。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルにおける和装の基礎知識を身に付ける ・留袖着付けの実習にて、着付けおよび着物の畳み方、扱い方を習得 ・簡単なヘアアレンジを理解する 		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題を講師がデモンストレーションし、個別実習していく。 ・着付けは数回で完成する。 ・ヘアアレンジは毎回一つの作品を仕上げる。 		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジ：相モデルにて、髪や道具の扱い方を学ぶ。 ・着付け：相モデルにて、和装の基本となるお太鼓着付けを学ぶ。 それに伴い畳み方、しまい方を学ぶ。 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジ：衣裳合わせなどで必要な簡単なヘアアレンジを4~5スタイル習得 ・着付け：お太鼓着付けの完成 		
成 績 評 価 方 法	期末テスト実技 (50%)、 期末テスト筆記 (45%) 出席率 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	なし		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		2年
科 目 名	フラワーアレンジメント演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	永宗 教子
時 間 数	前期：26時間 / 後期：時間	ホテルビジネス専門学校からホテル業界に就職して実務経験を積む。フラワーデザインの資格をいかし講義を始め、幅広くデザインができるように指導している	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	フラワーデザインの基本的な知識。 形や構成をテーマにして表現する。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し植物の知識を伝えながら指導する。フラワーアレンジメントを通じて花に対する興味を持たせ、理解を深める。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	ブライダルで使用する装花（ブーケ、卓上装花、メイン装花）の基本形態の習得をする。		
到 達 目 標	表現結婚式の際に、教会装花や会場装花、ブーケが作成できる。		
成 績 評 価 方 法	作品(95%) 出席率(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		2 年
科 目 名	ホテル英会話Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐藤 眞佐子
時 間 数	前期：15時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。接客基礎英会話力を身に付け、また異文化を学ぶことで、社会に出た時に外国人の方とも臆することなくコミュニケーションを取れる人材になることを目指す。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	日本国内にいても外国人との接触場面は今後確実に増えると予測され、特に接客に携わる者にとって、英語で基本的なコミュニケーションをとる必要がますます高まる。ホテルで必要となる英会話表現を中心に学び、必要となった時に即座に英語が出るような運用力を身に付けることを目指すとともに、異文化理解を深め、多文化共生社会を生きる者としての意識を高めてほしい。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルな考え方を養う。 ・ 海外の映像や文献に親しむ ・ 担当ごとに使う英語表現を覚える。 ・ 海外の映像や文献に親しむ 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。 ・ 異文化について理解を深め、日本文化との違いを意識する。 ・ 習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。 ・ 異文化について理解を深め、日本文化との違いを意識する。 		
成 績 評 価 方 法	期末テスト 95%、出席率 5%		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ホテル英会話Ⅰ — 基礎編 一般財団法人日本ホテル教育センター、 2017		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		2 年
科 目 名	ホテル英会話Ⅳ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 通年	担 当 教 員	佐藤 眞佐子
時 間 数	前期：時間 / 後期： 15 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。接客基礎英会話力を身に付け、また異文化を学ぶことで、社会に出た時に外国人の方とも臆することなくコミュニケーションを取れる人材になることを指す。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	日本国内にいても外国人との接触場面は今後確実に増えると予測され、特に接客に携わる者にとって、英語で基本的なコミュニケーションをとる必要がますます高まる。ホテルで必要となる英会話表現を中心に学び、必要となった時に即座に英語が出るような運用力を身に付けることを目指すとともに、異文化理解を深め、多文化共生社会を生きる者としての意識を高めてほしい。		
そ の 他	ホテル英会話Ⅱからの引き続き		
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当ごとに使う英語表現を覚える。 ・ 海外の映像や文献に親しむ 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。 ・ 異文化について理解を深め、日本文化との違いを意識する。 		
成 績 評 価 方 法	期末テスト 95%、出席率 5%		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ホテル英会話Ⅰ ー 基礎編 一般財団法人日本ホテル教育センター、 2017		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	卒業研究 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期：30時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ホテル・ブライダルの業界人として活躍していくにあたり今の業界の課題点を主体的に研究させ、業界の理解を深め、そして課題解決を含め想像力・提案力を高め現場で活用できる成果を上げる。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	学生が主体的にインターネットや文献を利用して研究を進め、パワーポイントを使用して発表を行う。主体的に研究を行う探究心と、発表を行うことによる達成感を体験させる。教師は研究に対し、経過ごとに修正をして精度を上げていく。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<p>業界に関連した内容で、現場研修、県内研修を通して知識を深めた情報を掘り起こす。</p> <p>研修、調査・研究結果を通してテーマに関する現状を学ぶ。</p>		
到 達 目 標	<p>個人研究：個人でホテル・ブライダル業界の現状からお客と企業間に起こる課題を導き出し、5分程度のプレゼンテーションを行う。</p> <p>グループ研究：個人プレゼンからテーマを設定し、その課題に対して様々な角度から切り込み、グループでプレゼンテーションを行う。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>制作物 (95%)</p> <p>出席率 (5%)</p>		
テキスト・副読本	特になし		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	卒業研究Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期：時間 / 後期：60時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ホテル・ブライダルの業界人として活躍していくにあたり今の業界の課題点を主体的に研究させ、業界の理解を深め、そして課題解決を含め想像力・提案力を高め現場で活用できる成果を上げる。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	学生が主体的にインターネットや文献を利用して研究を進め、パワーポイントを使用して発表を行う。主体的に研究を行う探究心と、発表を行うことによる達成感を経験させる。教師は研究に対し、経過ごとに修正をして精度を上げていく。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		業界に関連した内容で、現場研修、県内研修を通して知識を深めた情報を掘り起こす。 研修、調査・研究結果を通してテーマに関する現状を学ぶ。	
到 達 目 標		グループ研究でテーマに対して様々な角度から切り込み、学内発表会でプレゼンテーションを行う。	
成 績 評 価 方 法		制作物 (95%) 出席率 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		2年
科 目 名	プレゼンテーション演習	科 目 区 分	一般科目・専門科目
開 講 期	前期・後期・通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：30時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>実社会において必要なプレゼンテーション力を身に着けるための授業である。コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身につけていく。また、PowerPoint 2016 の習得。</p>		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>プレゼンテーションを行うために準備するパワーポイント作成の授業と、発表やその構成を考へて発表を行う準備をし、プレゼンを行う授業に分けて指導する。</p> <p>多くの人の前で躊躇することなく、また相手に伝わる話し方ができるようになる。</p>		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<p>コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身につけていく。</p>		
到 達 目 標	<p>聞き手を動かすプレゼンテーション力を身につける。プレゼンテーション資料としてPowerPoint2016 を効果的に使うことができるようになる。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>制作物(65%)、期末テスト(30%)、出席率(5%)で評価をつける。</p>		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>30時間でマスター Office2016 実教出版 不安が自信に変わる話し方の教室 三オブックス</p> <p>プレゼン資料のデザイン図鑑 ダイヤモンド社</p>		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		2年
科 目 名	情報リテラシーⅢ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	松田 満寿美
時 間 数	前期：32時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2016)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	練習問題、模擬問題を順番にこなしていく。初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、プロジェクターを使用して解説を行う。 また、学生同士で聞き合える環境を作り、お互いに分からないところを教え合うことでより理解を深める。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2016)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。		
到 達 目 標	表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。 サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3級 の取得		
成 績 評 価 方 法	期末試験(95%)、出席率(5%)で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	30時間でマスター Office2016 実教出版 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集 (2016対応)		